



## 謹賀新年

2024年 辰年

### 二〇二四年のはじめにあたって

木立敏樹 執行委員長

あけましておめでとうござい  
います。今年もよろしくお願  
いいたします。

昨年三月二十八日、坂本  
龍一が亡くなりました。彼は  
一九八八年、映画「ラストエン  
ペラー」でアカデミー賞作曲賞  
を受賞し、「世界のサカモト」  
となりました。その活動は音楽  
に留まらず、二〇〇一年「九・  
一一アメリカ同時多発テロ」を  
ニューヨークで体験すると、平  
和運動を始めるようになり、  
二〇一一年「三・一一東日本大  
震災」の後は被災地支援を精力  
的に行うとともに、「反原発」「反  
戦」の活動にも力を注ぐよう  
になりました。二〇一四年、中咽  
頭癌の診断を受けてからは、癌  
との闘いに加わりましたが、そ  
の活躍は衰えることなく、癌

も完治したかに思えました。し  
かし、二〇二〇年、直腸癌、そ  
して肝臓への転移が発覚、「余  
命半年」の宣告まで受けました。  
「ぼくはあと何回、満月を見る  
だろう」と呟きながら治療と活  
動を続け、最期に至りました。  
その生涯には頭が下がるばかり  
です。

私、木立俊樹も定年を過ぎ、  
病院通いをしながらの再任用  
で、あとどれだけ浜高教運動に  
携われるかわかりませんが、今  
年までできる限りのことをして  
きたいと思っています。

### 今年もどうぞよろしく

大山澄子 会計

大学4年生で受けた教員採  
用試験に受かったので大卒後  
すぐに教員になり、今年度60  
歳を迎えました。定年まで働  
きたいとの希望はありませ  
が、現実になるとは思いま  
せんでした。出産し、産休を  
1人で10か月、2人目で3か  
月の育休、3人目は育休なし  
で職場復帰しました。あとは、

の始まり、今こそがそのとき。  
まずはCWC、なります世  
界一のクラブに。Jリーグ4位  
なんて関係ありません。それか  
ら、とれるタイトルをすべて取  
って、今年こそはJリーグ王者  
になる。ああ開幕が待ち遠しい。  
そういう、幸せな、お正月の夢  
の話。

ギックリ腰で約1か月の療  
休を取っただけのお休みで  
した。よく働いたものです。  
来年度は、母の介護をしな  
がら、のんびりと畑仕事をす  
るつもりでしたが、60歳定年  
が延長されてしまい、なぜか  
退職のチャンスが見つから  
ず、現在に至っています。仕  
方ない「時の流れに身を任  
せ」て、今年も一年過ごして  
いこうと思えます。今年もよ  
ろしくお願いいたします。

### 大切な浜高教を守り育てまじょう

二木マリ子 書記長

2023年、ロシとイスラ  
エルが核使用の脅迫を公然と行  
うという事態に衝撃を覚えまし  
た。現代の今この瞬間も、爆撃  
で医療も受けられず多くの命が  
失われていることに、胸が締め  
付けられる思いです。平和は努  
力して守り育てるものというこ  
とを、改めて感じた一年でした。

世界の国々の指導者が自国優先  
になり、内向きになっていくこ  
とに大きな不安を感じます。

一方、アメリカの俳優・全  
米自動車労組・教職員組合など  
は、産業の枠を超えた組織を作  
り、ストライキを踏み切り成果  
を上げた一年でもありました。

日本でも8月末に西武デパート  
の売却を巡り、労組が61年ぶり  
にストライキを行い注目されま  
した。ストを支援するデモ行進  
には他のデパート労組役員も参  
加し、デパート業界全体に共闘  
が進みました。街の人の声も好  
意的なものが多く、勇気をもら  
いました。

「教育に穴があく」のが日  
常的になり、「このままでは学  
校がもたない」状況にも社会の  
注目が集まっています。中教審  
でも議論が進み、2024年春  
に答申が見込まれ、給特法の改  
正案の検討が始まるのが想定  
されます。2024年は、私た  
ち教職員の労働条件改善を進め  
るチャンスです。

2023年、浜高教もバレー  
ボール大会を復活し、リアルで  
集うことの大切さを改めて確認  
しました。各種の原水禁大会や  
全国学習交流集会等にも代表を  
派遣することができました。中  
でも、新組合員歓迎集会や横浜  
で開催された大都市高教組青年  
部集会に多くの青年部員が参加

し運営してくれたのは、何より  
もうれしく心強く感じました。  
しかし、浜高教執行委員の高  
齢化と人数不足は深刻です。  
世代交代をしなければ、数年後  
には執行委員がいなくなりま  
す。分会長会議では「労働条件  
整備が進み、組合の必要性が  
感じられなくなっている。忙し  
くてとても役員はできない」と  
いう声が聞かれます。でも、時  
間外勤務は当たり前、残業代も  
出ない、睡眠時間を削って仕事  
や家事に追われる今の生活に、  
本当にみなさん不満はないの  
でしょうか？休日ぐらいい家族  
と一緒に自分の好きなことを  
したいと思うのは贅沢なので  
しょうか？平和は努力しなけ  
れば守れないように、私たちの  
賃金・労働条件や教職員の権利  
も、学校の教育環境も努力しな  
ければ守っていくことはでき  
ません。おかしいと思っても一  
人で変えることはできません。  
組合に集まって市教委と交渉  
すれば、変えることができます。

全国組織と協力すれば、国  
の政策をも変えることができます。  
他の組織と協力すれば社  
会にアピールして変えること  
もできます。組合員のみなさん  
一人ひとりに訴えます。大切な  
浜高教を今後も存続して行く  
ために、ぜひ執行委員に立候補  
してください。青年部だけ、女  
性部だけ、バレーボール大会だ  
けということでも構いません。  
執行委員は無理でも少しでも  
お手伝いいただける方は声を  
かけてください。よろしくお願  
いいたします。

### お正月の夢

井上大司 執行副委員長

この原稿書いているのは年  
の暮れ。俳句のようになつてし  
まいましたが、おどけているわ  
けではありません。この時期、  
浦和レッズのサポーターは、恒  
例となりました終盤の失速のお  
かげで、暗い気持ちで年の瀬を  
迎えているのです。今年はまだ  
いい。ついこの前まで優勝でき  
ると信じていられたのですか  
ら。しかも、ホームで3度目の  
アジア王者となる姿を見せてく  
れたのですから。

しかし、今年の暗さには、ま  
た格別なものもあるのです。よ

りにもよってシーズン終盤に勝  
ち点剥奪のような誤審が度重な  
りました。また、今年だけでは  
終わらない、来年の天皇杯に参  
加できないという罰を背負わさ  
れてしまったのです。このよう  
な不条理、むごい仕打ちに耐え、  
今年を振り返っているのです。  
でも、鍛えられ、より一層強く  
なりますよ。私たちは。

浦和のサポーターは、試合  
終了まで常にレッズの勝利を信  
じています。だから、恐ろしい  
現実と向き合わなければならな  
い終わりのときから遠ざかるほ  
ど幸せで、結局、始まるときに  
一番幸せなのです。期待と喜び  
に満ち溢れた幸せなとき。一年





# あけましておめでとうございます

庄司智浩

金沢分会

昨年は、春に新型コロナが5類に移行されて、やっと普通の日常生活に戻ってきました。金沢高校でも様々な行事や活動で制限が外れて、普通の学校生活に戻ってきました。特に、マスクをしていない生徒の顔を普通に見られるようになり、この生徒はこんな顔だったんだ、というちょっとした驚きがあったり、生徒の表情から感情が読み取りやすくなったりと、以前はこうやって授業をしていた

んだな、という当たり前のことをあらためて感じる事が出来る日々でした。一方で、冬でもないのに感染症の流行が繰り返り、何度も学級閉鎖が発生して、生徒や我々の体は、まだ日常を取り戻せていないのだから、と感じることもありました。新年を迎えて、今年こそは心身ともに日常を取り戻して、普通の学校生活を送ってあげたらと願っています。

# 辰年に思うこと

西村雅美

戸全分会

令和6年辰年の始まりです。「辰」は動物に当てはめると「龍」ですが、十二支の中で唯一の想像上の生き物。しかも古代中国では神獣とされているので皇帝のシンボルでもあります。

この「龍」の勢いにあやかり、今年の浜高教も上昇気流に乗れるといいなあと願っております。それには今まで当然だと思っていた組織の改革、組合に参加して

# 新年の思い

山口 満

桜丘分会

明けましておめでとうございます。先日、「元SEALDS」として堂々と「社会」で生きられないメンバーがいる、という記事を読みました。メンバーたちは、活動当初からネット上で言動や容姿を非難され、路上ですれ違った人に「日本から出て行け」と強く言われた方もいるそうです。さらに、解散後も当時の映像等から職場で「過激

派」と見られてしまわないか心配しており、現在は実名での取材を拒否し、市民運動から距離を置いているメンバーも少なくない。「私たちが伝えなかったのは誰かに期待するのではなく、個人が自分の責任において行動することの必要性だった」。彼らも含めて堂々と生きられる「社会」が、他の人も生きやすい「社会」で

# 新年に願う

渡辺亜矢子

戸全分会

謹んで新年のお祝い申し上げます。皆様お健やかに新年をお迎えでしょうか。昨年は世界的にも国内的にも穏やかならぬニュースが飛び交う中、初任のお給料を頂点に(2桁)違いました。再任用職員も大幅昇給の報に職員室の空気が暖かく和やかになった気がしました。執

行委員体制厳しい中、メーデーも教研も、久しぶりのバレーボール大会も行われました。執行委員の皆様のご苦労お察しします。各分会員の皆様のご協力の賜物です。2024年は、今まで組合に目を向けていなかった方々も多数加入されて、執行委員にも多く



楽しかったと思えるような企画など、新しい取り組みも必要なのではないでしょうか。「雲竜」のごとく、でも浅はかな行動をとって「逆鱗」に触れないよう、欲張りすぎず「龍頭蛇尾」に終わらないうように力を合わせていきましょう。

# おめでとろがらっぱら

進 達也

東分会

あけましておめでとうございます。昔は正月の何がおめでたいのか、さっぱりわからなかった。親は「無事に新しい年を迎えられる」ということがおめでたいんや」と言っていたが子供の僕には理解不能。しかし年齢を重ねて少しずつ分かってきた。「今生きていることがおめでたいことだ」ということを。今日もこの世に存在しているだけで、自分自身に、生きていておめでと。

同じことが学校にもいえる。創立〇周年とかいうと「時間が経つたら〇周年になるに決まってるやん」と思っていたが、少子化で学校が統廃合される時代。今日も東高校が存在していて良かった。東高校。創立60周年おめでとう。

30年ほど前だろうか。ユーミンのコンサートに行ったとき「多くの歌手がデビュー〇周年コンサートとかやりたがるけど、私はそんなタサいことほしくない」と言っていた。が、今50周年コンサートの真っ最中だ。人の考えは時と共に変わる。今日も歌ってくれて良かった。ユーミン。50周年おめでとう。「おめでとろ」と言ったり言わ

# “コウペンちゃん”みたりに

岩瀬 紀子

みなと総分会

新年あけましておめでとうございます。何でも肯定してくれるコウペンギンの赤ちゃん「コウペンちゃん」というキャラクターをご存じですか？「寝て起きたの？えらい！」「出勤できただけではなまら！」「退勤してえらい」など、何でも肯定して褒めてくれます。

大人になるとなかなか褒めてもらえる機会がなく、また「これもできない、あれもできない」と気に病むことも増えてきます。そのような時にコウペンちゃんを自分の中に持って心穏やかに一年を過ごせるとよいですね。ただ生徒に「雨なのに来たの？えらい」などと喋ってハードルを下げてしまおうと、調子にのってしまおうとあるの、使い方にはお気をつけください。



れたりしていると、しあわせがきつとくるような気がします。この文章を読んでくれて良かった。読んでくれたあなた。おめでとう。



# 新年の決意

近藤真寿美

南分会

明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。ありがとうございます。

思えば、一昨年はコロナ禍であらゆるものが制限された我慢の年、昨年は円安で多くのものが値上がりしたやはり我慢の年と、厳しい年が続きました。今年も竜のように勇ましさや力強さを持ちながら、これまで以上に団結して、私たちの生活が少しでもよくなるように、これからの一年も頑張りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いたします。

# 「健康で美しく」をサポートします

三好 裕美

横商別科分会

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、制限されていた学校行事も平常の活動ができるようになりましたが、感染拡大以降のライフスタイルは大きく変化したように感じます。そんな中であっても、人々が健康で美しくありたいと願う気持ちはいつもの世も変わりはないと思っています。私たちはそのお手伝いをさせていただきます。私たちがその輝きと良識を備えた理容師・美容師を養成することを目標に本年も職員一同取り組んでいきたいと考えています。2024年が皆様にとって良い一年になりますように。



明けましておめでとうございます

お正月に行われる箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)を毎年楽しみにしています。今年第100回大会ということで、当然のことながら100周年だと思ひ込み、調べてみると、なんと違っていました。御多分に漏れず、太平洋戦争中と戦後の混乱で中止となった年があったそうです。戦時中の1943年大会は、実施できなかったとよく見たら、戦意高揚の道具のように、スタートが靖国神社、ゴールが箱根神社といびつになつてた。そんなことを知つてみる大会は、よくぞこまで続いてこれたものだと平和のありがたみをかみしめてしまいます。

吉田 敦子 盲分会

今から100年前の世界は、あちらこちらで戦争の火種がくすぶっていた。翻つて、今はどうでしょうか。同じような事象が起きた時、人間としてどうするか、今こそ問われているのではないのでしょうか。盲分会は、相変わらずの少数ですが、戦争のない平和を願い、今年も頑張つていこうと思つています。ベテランと呼ばれるようになり、自分自身や親の体調に気を抜けない年ごろとなりました。2024年辰年、皆さんとともに良い年にしていこうと思つていきます。よろしくお願ひします。本年も変わらぬお付き合いのほど、よろしくお願ひします。

祭りのことを見つければ 頑張りますよ！

齋藤 成二 YSFH分会

あけましておめでとうございます 昨年5月に新型コロナ感染症の分類が5類に変更され、入国制限などの規制も撤廃されました。ベテランロック歌手のコンサートが聖なる夜に横浜アリーナで行われるなど、横浜の街もかつての賑わいや活気が戻り、星降る街角には人々の笑顔やたくさんのお客の姿があふれていました。記憶が正しいかどうかわかりませんが、賃上げ率もバブル期以来の高さとなつたのではないのでしょうか。

こやうやって世の中を見てみると、明るい話題も無いことは無いですが、日常の業務に加えて、変更点が多く緊張を強いられる入試業務など、我々を取り巻く環境は厳しいものがあります。仲間を大切に、そしてどんな時でも「楽しいこと」を見つけていこうと思つていけたらと思います。2024年も皆様にとつて明るく希望に溢れる一年となりますようにお祈り申し上げます。

今年も頑張ります

大橋 正義 ろう分会

あけましておめでとうございます ろう学校は11人の分会員で、職員会議のあとに集まり、お菓子を食べながら情報交換をしています。先日は、異動のことや給料について話題にしました。入れ替わりの激しい人事異動に伴

い、ろう教育の専門性について強い危機感をもっています。今年も微力ながら、力を合わせて頑張ります。

龍の力で 乗り越えよう

小島 純 港南台ひの特支

新年明けましておめでとうございます。この忙しさは何なんだろう。職場は「忙しい」というよりも「厳しい」「辛い」という感じです。世の中では少子化と言っているが知的障害校では真逆なことが起きているのだろうか。そんな中で働いていれば心身ともに疲弊してしまふ。今こそ仲間と手を取り合つて、この厳しさを今年の干支の龍の力を借りて、頑張つて乗り越えていきたいと思います！



年頭のご挨拶

中能 悦子 上菅田特支

本年もよろしくお願ひします。コロナが5類になつたとはいえ、様々な感染症も流行し、児童生徒たちを思うとまだまだマスクを手放せない職場です。(下校後は即座にノーマスクの私ですが：)

本校の人權研修から立ちあがつた手話学習会があります。最近私も参加できないことが多いのですが、職員同士スムーズな意思疎通、コミュニケーションが行われるよう取り組んでいます。

手話も英語(外国語)もコミュニケーションのためにも大切ですが、ハート♡を一番に笑顔で過ごせる職場・社会・世界でありますように！と新年改めて思つております。

2023年度 父母と教職員のつどい アメリカの教員組合に学ぶ

〜いま、アメリカの労働者が熱い！〜

講師 中村雅子氏 (桜美林大学リベラルアーツ学群教授)

2023年度 父母と教職員のつどい

アメリカの教員組合に学ぶ

今、アメリカの労働者が熱い！

講師 中村雅子 (桜美林大学教授)



プロフィール

千葉県出身。AFS 留学生としてテキサス州ダラスの高校を卒業。東京大学(アメリカ地域研究)、同大学院(教育史・教育社会学)を経てコーネル大学大学院(教育哲学、歴史)で1988年にPh.D.、1990年から桜美林大学(アメリカ研究・教育学)。専門はアメリカ教育史。共著に宮崎野矢編著「再検討-教育権の平等」(岩波書店)など。民主教育研究所代表運営委員、「教員の長時間労働に歯止めをかけ、豊かな学校教育の実現を求める教育研究者有志の会」呼びかけ人。

2023年11月4日(土)13:30-15:30 参加無料 横浜市従会館3階会議室 オンライン(zoom)参加も可能 横浜市立高等学校教職員組合(浜高教)主催

新年のご挨拶

丸山百合子 若葉台特支

肢体不自由のA部門は、通常の教育課程で学ぶ生徒もおり、教科の名前の付いた授業も試行錯誤しながら行なっています。重複障害の重い生徒にとっては、授業の意味わからないのではなにか?ねらいは何か?授業のための授業になつていないか?生徒の成長発達に結びついているのか?など考えさせられる毎日です。今年もよろしくお願ひします。

ね合わすことができるのでしょうか。元マサチューセッツ教員組合委員長・レイバーノーツスタッフであるバーバラ・マデローニさんのことばである「たかえば勝利する」は、たかえば必ず勝てるということではなく、一人一人がつながること、民主主義のパワーにより組織化することが勝利なのだという意味です。その言葉を、この胸に刻み込みたいと思います。

給特法問題を始め、部活動問題や観点別評価導入による長時間過密労働、現場の声を無視した劣悪な労働環境による教員不足等、私たち教職員を取り巻く教育環境は依然厳しく、働き方改革を推し進める言葉もむなしく響きます。そして今、組織率の低下や執行委員不足等、浜高教の活動も困難な状況にあります。教職員組合改革を経て、社会正義組合主義のもと、新自由主義教育改革との闘いを通し、盛り上がるアメリカの教員組合運動の現状について学ぶことを通し、この現状を打破する糸口を見いだすことができなかつたらと本部役員として切に願ひします。(井上大司)

参加者の感想を抜粋し、以下に記します。



○アメリカの教員ストに組合員が三万五千人、その集いに保護者と市民が五万人集まることに驚いた。日本の教育環境はよいとはいえないのに、日本人はおとなしい。日本人はがまんしすぎだと思ふし、もっと要求するべきだ。(組合員)

○教員としての熱量をすっかりと持って毎日を通じていくことが大切だと改めて感じる事ができた。(組合員)

○学習者のためにたたくかえる余裕が教員に生まれるとよいと思います。パワーとは何かを理解するパワーをもらいました。連帯していききたいです。(組合員)

○話の中で何度も出てきた「対話」というワードが印象に残りました。気持ち的にも時間的にも自分の思考的にも余裕がなくて対話できていない現状をすこしかえてみようかなという気になりました。(組合員)

○「union(つながること)」でパワーを高める。数は力だし、浜高教のスローガン「ささえあい、たすけあい、そしてくみあい」を今後も大事にしてください。(教友会)

○社会正義組合主義を日本の教職員組合運動において広げていきたいと思いました。(一般)

### 全国国籍条項撤廃連絡会

#### 対文科省・外務省交渉

年に一度全国の国籍条項撤廃の運動を行っている市民団体が東京に集まり、文科省・外務省に對して公務員(特に公立学校の教職員)の採用における国籍条項の撤廃を求める交渉が、今年(二〇二三年)も八月二日(水)、参議院議員会館地下会議室において行われ、市民団体、国会議員、マスコミなど五十二人(浜高教三人)が参加しました。当局からは文科省から四名、外務省から二名、人事院から二名の計八名が参加しました。

我々の「常勤講師制度の撤廃を求める要望に対し、文科省は「教諭については校長の行う校務の

運営の参画に携わるので「当然の法理」の適用がある日本国籍が必要」と従来通りの発言を繰り返すばかり、また国連の人種差別撤廃委員会の勧告に「実施するための具体的な措置」の要求に外務省は「勧告は法的拘束力がない」と答弁しました。

交渉の後には同じ会場でも「八二国籍条項・常勤講師撤廃を求める院内集会」が開かれ、田中宏さん(一橋大学名誉教授)の講演や各地(東京・兵庫・大阪・群馬・岡山)からの活動報告、常勤講師の教員訴えや国会議員からの連帯の挨拶などがありました。

(木立敏樹)

### 「社会科学分科会12/2」報告

ハデイ・ハーニさんがパレスチナ問題についてお話ししてくださいました。パレスチナ人の父と日本人の母をもち、日本で育ったハデイさん。大学で教鞭をとる学者なので、決して感情的にならず歴史的な事実と論理に基づいてお話をしてくださいました。ただ、いまパレスチナ問題を語ることに特別な思い入れがあることは十分に感じ取れた。

ハデイさんのお話のなかで「力の強い者」と「力の弱い者」の衝突には二つのレベルがある、ということに気づかされた。一つは目に見える衝突(誰にとつても明らかかな暴力)。もう一つは、強者が作り上げた制度に弱者が抗う衝突。こちらは時として目に見えないので気づかれにくい。パレスチナにおける「力の強い者(イスラエル)」と「力の弱い者(パレスチナ人)」の衝突では、いま現在の目に見える衝突のレベルにどうしても目を奪われてしまいが、その背後にある見えにくいレベルで蓄積されてきた衝突にもきちんと目を向けたいといけな、と気づかされた。この衝突は、強者が作った制度に理不尽に踏みつけられた弱者が、自分たちの誇り(人権)と生活(命)を守るための闘い、という側面が多分にある。また、強者と弱者の衝突を「どっちもどっち」として捉えることは、結局は強者に有利に働くことになる、というの、なるほど、と思った。

このことを自分の身近なことに当てはめてみると、教員は学校において圧倒的に「力の強い者」であり、生徒は「力の弱い者」である。自らの力によって自覚のないまま生徒の誇りと生活を踏みじめるようなことをしていないだろうか。パレスチナ問題を深く知るとともに、そう振り返るきっかけをハデイさんのお話からいただいた。

(桜丘分会 浅沼大亮)

### 新しい年を迎えよう

#### 乙守貴子 執行委員

新しい年になりました。昨年を振り返ると、母が亡くなったり義父が入院したりとあまりいいことがありませんでした。職場では、年度途中に児童が増えたり、教員の生徒に対する不適切指導があったり、病休暇の教員の代替が来なくて欠員状態に続いたりして、職場全体が忙しくなり、気持ちがあっふあっふしてしまいました。その上長い

教員生活の中でめったにない悲しい出来事があり、かなり気持ちが沈みました。しんどいなあと思うことが多かったのです。冬のボーナスが上がったのが、せめてもの救いだったなあと思います。

昨年あまりいいことがなかった分、今年はいいことが増えるのではないかと大いに期待している私です。(新年から暗い話をしてしまい、すみません。)

## 新春恒例おたのしみクイズ

★正解者の中から抽選で10名のかたにクオカードを進呈します。「クイズの答え、所属分会名、氏名」を書いて1/26(金)までに浜高教本部(情報宣伝部)宛にお送りください。

※市ポストは使えません。電子メールまたはFAXをご利用ください。

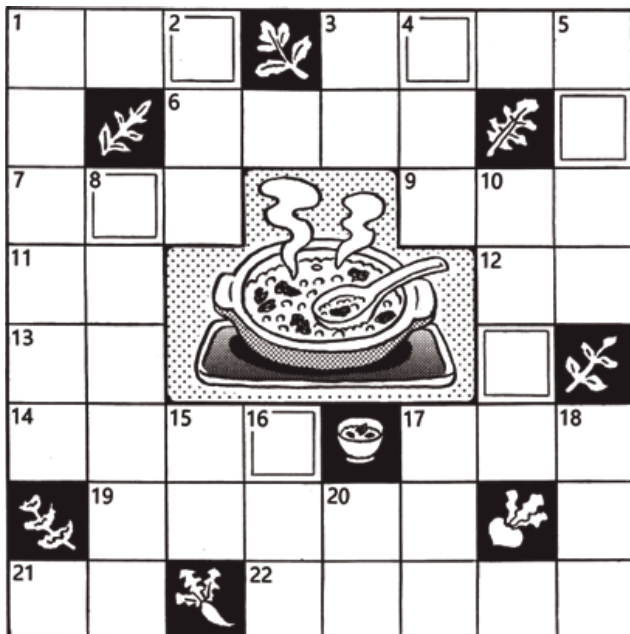
# 2024



《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの6文字をうまく並べてできる言葉は？

### タテのカギ

- 1 扇子の別名
- 2 市川團十郎は……屋
- 3 ……ワード。……ボード
- 4 日本の国花
- 5 鶏口となるも……となるなけれ
- 8 江戸から信濃・美濃路を通って京都へ行く街道
- 10 生きていて良かったと思う心の張り合い
- 15 草を刈る道具の一つ
- 16 ……は和して同ぜず
- 17 たい焼きの……はあんこ
- 18 尺八の一流派……流
- 20 物置小屋のことです



### ヨコのカギ

- 1 春の七草の一つで、カブの春の七草の一つで、カブのことです
- 3 12月は師走、1月は睦月、2月は？
- 6 昔の映画作品の再映画化
- 7 宮崎県の旧国名を訓読みすると
- 9 夏に多い雨
- 11 水などをこして、清浄する……装置
- 12 俳句に詠み込みます
- 13 でたらめ。うそ。……ネタ
- 14 アウトライン
- 17 中世ヨーロッパの騎士
- 19 山形県産米の一つ
- 21 祖先はメリテリウム
- 22 麻雀の対局中、うそを言って相手を惑わす行爲